

2011年2月22日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

フィリピンにおけるニッケル事業の地域統括会社業務開始について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長家守伸正）は、昨年設立した Sumitomo Metal Mining Philippine Holdings Corporation（住友金属鉱山フィリピンホールディングス、以下「SMMPH」）においてフィリピンでのニッケル事業に関する地域統括業務を開始いたしました。

ニッケルは、レアメタルのひとつで経済的に採掘可能な場所が限られる貴重な資源であり、資源価格高騰の影響も受けて鉱山会社間での争奪がますます熾烈になっています。

当社は、これまで回収困難であった低品位のニッケル酸化鉱からニッケルおよびコバルトを回収する技術であるHPAL（High Pressure Acid Leach 高圧硫酸浸出）の商業生産化に成功し、2005年からフィリピンのCoral Bay Nickel Corporation（コラルベイ・ニッケル・コーポレーション、以下「CBNC」）で、ニッケル中間製品であるMS（1）の生産（生産能力24千トン/年（ニッケル量換算））を行っています。また、Taganito HPAL Nickel Corporation（タガニト・イパル・ニッケル・コーポレーション、以下「THPAL」）においても2013年のHPALによるMS生産開始（生産能力30千トン/年（ニッケル量換算））をめざして、現在フィリピン・ミンダナオ島でニッケル製錬プラントの建設を進めているところです。

このたびSMMPHをニッケル事業の地域統括会社と位置づけ、CBNCとTHPALに共通する管理業務をSMMPHに移管するとともに人的資源を共有化することにより、事業運営力の強化を図ることといたしました。なお、CBNCおよびTHPALについて資本関係の移動はありません。

SMMPHによる地域統括業務の開始は、フィリピンにおけるニッケル事業のさらなる基盤強化を図るものであり、当社は引き続き2009年中期経営計画に掲げる長期ビジョン「ニッケル15万トン/年体制」実現に向けて着実に計画を推し進めてまいります。

- 1 MS：Nickel/Cobalt Mixed Sulfide ニッケルコバルト混合硫化物。ニッケル品位約60%のニッケル中間製品。ニッケル工場で生産される電気ニッケルの原料となる。

・Sumitomo Metal Mining Philippine Holdings Corporationの概要

資本金 : 2,500百万フィリピンペソ
出資比率 : 住友金属鉱山株式会社 100%
本社所在地 : フィリピン共和国 マカティ市
代表者 : 藤村隆則

・ Coral Bay Nickel Corporation の概要

資本金 : 587.5 百万フィリピンペソ

出資比率 : 住友金属鉱山株式会社 54%

三井物産株式会社 18%

双日株式会社 18%

Rio Tuba Nickel Mining Corporation 10%

本社所在地 : フィリピン共和国パラワン州バタラサ郡リオツバ

代表者 : 藤村隆則

・ Taganito HPAL Nickel Corporation の概要

資本金 : 5.4 百万フィリピンペソ

出資比率 : 住友金属鉱山株式会社 62.5%

Nickel Asia Corporation 22.5%

三井物産株式会社 15%

本社所在地 : フィリピン共和国マカティ市

代表者 : 藤村隆則

(本件に関するお問い合わせ先)

広報 IR 部 高橋 雅史

TEL : 03-3436-7705

以上